



高校生らと「KATARIBA」で交流する原田さん



舞鶴同期会の様子

NEW FACE //



新人 初めまして！
地域おこし協力隊です！

本市の地域おこし協力隊に、埼玉県出身の藤田真奈さんが新たに加わりました。今月から舞鶴市に拠点を移し、隊員としての活動をスタートさせます。「まずは皆さんに顔を覚えてもらいたい」と新天地での出会いを心待ちにしている藤田さん。自己紹介も兼ねて、協力隊に応募した理由、今後の目標などについて、教えてもらいました。

Q なぜ舞鶴に？

A 直感です！昨年9月、大学時代の友人に会うために初めて舞鶴を訪れ、数日間にわたって市内を案内してもらいました。豊かな自然や海産物、皆さんの温かい人柄に触れ、実家に帰ったその日に「舞鶴に移住したい」と家族に伝えました。

Q なぜ地域おこし協力隊に応募を？

A 「舞鶴に移住したい」という思いはありましたが、自分に何ができるか、答えは出ていませんでした。そんなとき、昨年10月に東京で開かれた舞鶴市主催のイベントで地域おこし協力隊が募集されること知り、自分の経験が生かされる可能性を感じ、応募を決めました。隊員をしている友人もいて、やりがいのある仕事だと感じていました。

Q 隊員として、どんな活動をしたいですか？

A まずは写真を通じて舞鶴の魅力を発信したいです！よそ者だからこそ気付ける、舞鶴の魅力がたくさんあると思います。自分の視点で切り取った写真を発信し「舞鶴に住んでみたい」と思う人を1人でも多く増やしたいです。

Q 皆さんに一言お願いします！

A まずは皆さんと関わる中で自分のことを知っていただきながら、舞鶴の魅力をもっと発見するのが目標です！まちなかでもし私を見かけたら、ぜひ声をかけていただき「舞鶴のこんな良いところあるよ！」と教えてください！

2023.5

舞鶴同期会をスタート。

3月の「移住者交流会」に引き続き、市内企業に入社した新入社員同士が交流し、スキルアップを目指す「舞鶴同期会」をスタートしました。計8回の同期会を通じ、9社から集まった17人が会社の垣根を越えて学び、互いを高め合いました。UターンやIターン者が多く、参加者からは「ゆかりのない土地に不安があったが、友人ができてうれしい」という声をもらいました。

西舞鶴駅に高校生向けの自習室をオープン。

「駅周辺に居場所がほしい」という意見を高校生から聞いたことをきっかけに、西駅交流センター内にテスト期間限定で自習室をオープンしました。利用を呼びかけたところ「総合的な探究の時間」などで日頃から高校生と交流していたこともあり、初日から25人が利用してくれました。

2024.4

活動開始から1年半。

いよいよ折り返し地点。これまで積み上げてきた活動が今後とも続くよう、運営のあり方などを模索していきます。

2024

2023.10

「KATARIBA」の4月オープンに向けスタートを切る。

西舞鶴駅西側のビルの一室に今年4月、日星高校教諭の高田さんと共に、中学・高校生と社会人が交流できるスペース「KATARIBA」をオープンすることにしました。家庭や学校外で大人と知り合う機会を持ってもらい、将来のUターンにつなげるのが目的。オープンに向けたDIYイベントに協力してくれる人を募っていたところ、計8回のイベントに高校生延べ50人を含む延べ115人が駆け付けてくれ、これまでの活動が実を結んだことに喜びを感じました。

